

様式9

「川づくり団体」部門

## 河川基金助成事業

「利根川は地域をつなぐ！」

助成番号： 2024 - 6111-015

利根川の魅力を育む会

代表者 小宮 豊隆

2024 年度

様式6

1. 川づくり団体部門

[概要版報告書]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名		
2024-6111-015	利根川は地域をつなぐ！	利根川の魅力を育む会・小宮豊隆		
助成事業の要旨	<b>活動の目的</b>			
	<p>当会は、次世代を担う子供たちに加えて当該地域を支える大人たちを対象として、関東地域を代表する『利根川』の地域固有の自然環境や、郷土の歴史・文化等の地域資源を活かした体験活動(自然観察会および利根川川下り)を通じて、自然環境保全の必要性理解を深めるとともに、地域の人々の利根川に対する想いや願いを共有し、大人も子供も「地域の一員」としての意識を持った地域に根差した人づくり・地域づくりを目指します。</p>			
	<b>事業テーマ</b>	(申請書に記載した「申請テーマ」を記載してください。)		
	<b>【実施内容】</b>			
	<p>当会では令和6年度において表1に示す活動を展開した。</p> <p style="text-align: center;"><b>表1 令和6年度の実施活動内容</b></p>			
	月 日	イベント名	参加者	実施内容
	2024.5.3	加須市連携事業	一般参加者 14名	ジャンボ鯉のぼり川下りツアー
	2024.6.25	羽生市立村君小学校総合学習支援・事前講座	児童 37名,教員:3名	水辺の安全講座(座学・実地)
		羽生市立川俣小学校総合学習支援・事前講座	児童 14名,教員:3名	
	2024.7.3	羽生市立村君小学校総合学習支援・実地調査	児童 37名,教員 7名	利根川ラフティングツアー
2024.9.10	第1回利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会	18名	利根川の魅力抽出ワークショップ	
2024.9.18	羽生市立川俣小学校総合学習支援(ラフティングツアー)	児童 18名,教員 6名	利根川ラフティングツアー	
2024.10.1	利根川フォトコンテスト 2024 募集開始	5名(国交省,羽生市他)	ポスターやチラシの掲示・配布	
2024.10.4	第2回利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会	20名	利根川イベント検討ワークショップ	
2024.10.30	第3回利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会	25名	利根川イベント検討ワークショップ	
2024.11.10	利根川観光活用イベントに向けた社会実験	35名	利根川観光活用イベント(プレ)	
2025.1.20	(仮)羽生・川俣地区かわまちづくり勉強会・現地視察	15名	わたらせりバープラザほか	
2025.2.4	(仮)羽生・川俣地区かわまちづくり勉強会	14名	次年度の取り組み方針の検討	
2025.2.28	利根川フォトコンテスト 2024・審査会	15名	審査員による協議と優秀作品の選出	
2025.3.22	利根川フォトコンテスト 2024・表彰式	40人(受賞者 12名)	表彰式の実施	
<p>(1) <b>地域連携事業の企画・運営(既存事業の発展)</b>                      加須市が開催する「ジャンボ鯉のぼり」を利根川の水面から見学するラフティングツアーを企画・運営した。今回で2回目であり、加須市観光課との調整や運航ルートの確認などはスムーズに実施できた。</p>				
<p>(2) <b>小学校への河川体験プログラムの企画・運営および利根川ラフティングツアー</b>                      羽生市立村君小学校(今成校長)と羽生市立川俣小学校(長谷川校長)を対象に利根川ラフティングツアーと水辺安全講座を実施した。現地に向く前に、河での危険や安全対策の重要性を学ぶとともに、利根大堰から東武伊勢崎線(約4.5km)までの約1.5時間の利根川体験ラフティングツアー(川俣小学校では大声大会も開催)を実施する等、事業継続を見据えた<b>河川体験プログラムに係る支援が展開</b>できた。</p>				
<p>(3) <b>利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会</b>                      本年度は、国土交通省と合同開催として「利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会」を実施した。全3回WSでは、羽生・川俣地区かわまちづくりの事業化に向けて利根川で実践できる観光イベントを検討し、利根川観光活用イベントの社会実験を実施した。これに加えて、羽生・川俣地区かわまちづくりの事業化に向けて、渡良瀬川のかわまちづくり事例(わたらせりバーポートパーク他)の現地視察や、次年度以降のかわまちづくり事業の最短スケジュールや実践内容に係る事前打合せを実施した。</p>				
<p>(4) <b>利根川フォトコンテスト 2024の実施</b>                      令和4年度から3回目の「利根川フォトコンテスト 2024」を実施した。この活動は、日本大学理工学部の学生と連携しながら募集ポスター制作や募集、一般投票を含む「利根川フォトコンテスト審査会」を立上げ、優秀作品を選出するとともに、その作品に対して表彰するといった一連の流れを企画・運営した。</p>				
<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 当会の利根川ラフティングツアーを発展させた「地域連携事業」に加え、利根川観光活用WSから抽出された各種観光イベント(テントサウナや利根川フォトコンテストなど)の社会実験、さらに、中長期的視点での「かわまちづくり(川の駅・河川敷公園)」へ向けた国土交通省(利根川上流河川事務所)との勉強会の開催など、<b>利根川観光活用に向けた新たな一歩が踏み出せた点が評価</b>できると認識する。</li> <li>➢ 河川学習支援では、昨年度に事業化した「羽生市立川俣小学校での河川体験活動」を継続するとともに、夏休み前の安全講座からの川下り体験という<b>ストーリー性を持たせた授業</b>とした点が評価できる。</li> </ul>				
<p><b>【今後の展望】</b>                      本年度の成果としては、羽生市を中心とした「地域の想い」である周辺自治体との連携事業や短期的取り組みに係る事業の実現に寄与したといえる。今後は、中長期的取り組みに向けた<b>河川空間での賑わい造成とその効果を羽生市域(まち)へ波及</b>させるべく、これまで以上に地域資源「利根川」の魅力を発見し、これを地域振興・観光活用に展開できるよう努力していきたいと考える。</p>				

※ポイントとなる事項に適宜アンダーラインを引いてください

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2024-6111-015	利根川は地域をつなぐ！	利根川の魅力を育む会・小宮豊隆
助成事業実施成果の自己評価	<p><b>【当初目標の達成度】</b>                      本年度は、利根川ラフティングツアーやテントサウナ体験などの既存の取り組みの地域的发展に加え、川の駅・河川敷公園（かわまちづくり）や利根川水辺フェスの開催などの中長期的事業の実現化に向けた取り組みを展開することを目標として実践してきました。これらに関して、既存の利根川ラフティングツアーと加須市ジャンボ鯉のぼり事業との連携事業を安定的に開催できた点に加え、国土交通省や羽生市と連携した「利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会（全3回）」の開催、利根川観光活用イベントの社会実験を展開してきました。これらのことから、当初予定した目標については、全て達成できたと認識しています。なお、次年度以降の打合せの中で、かわまちづくり制度と Park-PFI 事業、河川空間のオープン化の3つの制度を活用した事業運営について協議し、羽生市が占用主体（公募主体）として水辺空間の活用方策の検討を進めるものとしています。</p> <p><b>【活動の創意工夫点】</b>                      当会は、地域固有の自然環境や郷土の歴史・文化等を有する『利根川』という地域資源を活かした体験活動を通して環境保全の重要性や利根川に対する想いを共有し、大人も子供も地域の一員となる地域に根差した持続可能な人づくり・地域づくりを目指しています。こうした中、大人も子供も含めて地域の想いを聞くことを大切にし、産学官民の連携事業である「利根川観光活用ワークショップ」を開催しています。ここでは、国交省や市町村、民間企業などの事業関係者や第三者の視点から意見がいただける大学生に加え、利根川観光活用イベント（社会実験）を実施する際には子供参加者を募集し、子供の視点での魅力や改善点を確認するよう工夫しています。これは、本年度も併せて実施した「利根川フォトコンテスト2024」においても、年齢を問わない一般部門ばかりでなく、小中学生の部を設けることで、子供目線の魅力的な利根川の風景を抽出し、その想いを保全・活用するための材料として活用していくこととしています。こうした活動成果に関しては、中長期的取り組みとなる「かわまちづくり事業」や「利根川水辺フェス」に向けた今後の河川事業の中においても活かしていく所存です。</p> <p><b>【地域や河川管理者との連携】</b>                      本年度における各種取組においては、以下に示す地域や河川管理者との連携がありました。事業の継続を願う声なども多く聞いておりますため、一過性のイベントとするのではなく、地域や河川管理者、地元企業などと諸所連携しながら当該事業を進めていきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川学習支援（小学校）：羽生市立村君小学校（令和6年度で閉校）、羽生市立川俣小学校</li> <li>・ジャンボ鯉のぼりツアー：羽生市観光プロモーション課、加須市観光課、羽生市観光協会</li> <li>・利根川フォトコンテスト2024：協力羽生市観光プロモーション課、羽生美術連盟、小川工業(株)、(株)建設技術研究所、日本大学理工学部、後援国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所他</li> <li>・利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会：合同開催国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所、協力羽生市観光プロモーション課、日本大学理工学部、小川工業株式会社ほか</li> <li>・(仮)羽生・川俣地区かわまちづくり事業：国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所（河川管理者）、羽生市観光プロモーション課・建設課（河川敷占用主体）</li> </ul> <p><b>【今後の展望】</b>                      当会では、利根川に対する想いを共有し、大人も子供も地域の一員となる地域に根差した持続可能な人づくり・地域づくりを目指しています。こうした観点から、次世代を担う小学校への河川学習支援や利根川フォトコンなどを通じて、子供たちから利根川ラフティングツアーや水遊びの楽しさについてコメントをいただく共に、地域の絵画展覧会においては、楽しそうに利根川で川下りをする絵が複数確認される等、子供たちの心に届く取り組みへと深化するとともに、ひいては当団体の後継者として認知してもらえるよう継続していく次第です。また、当会は、「河川利用者」の立場として、羽生市や利根川上流河川事務所（河川管理者）とのハブ役として「かわまちづくり事業」の進捗に貢献するとともに、市民や民間企業と行政（市や国）とのパイプ役となることが重要となります。こうした点を考慮しながら、羽生市を中心とした埼玉北部地区（行田市・加須市・鴻巣市・久喜市など）や利根川上流域や下流域へと活動の環を展開していくことで、当該活動の地域的広がりを目指していきたいと考えています。具体的には、茨城県境町（手作りいかだイベント実施例）、群馬県みなかみ町（ラフティング事業の実施例）等の具体的な地域間連携の方策について模索していくことで、これまで以上に地域資源「利根川」の魅力や地域振興・観光活用を昇華できるよう努力していきたいと考えます。</p>	

# 1. 活動概要

## 1.1 運営団体概要

### 1.1.1 会の名称

利根川の魅力を育む会（会長 小宮豊隆）

### 1.1.2 設立経緯

羽生市では、2007年より羽生市立村君小学校で河川学習が取り入れられて以降、13年間にわたってハクレンの飛ぶ利根川の川下りが実施されてきました。このような活動は、自然を尊重する精神や自然環境保全を学ぶことに加えて、世代を超えた地域交流の場や、自然体験観光の場としても、重要な役割を担った活動であると認識しています。しかし、こうした“利根川の魅力”を広めることができていません。そこで、“ふるさとの利根川”の魅力を羽生市のみなさんに広く認識してもらうとともに、地域経済活性化や利根川及び羽生市の地域ビジョンの策定、キーパーソンとなる人づくりを目指し「利根川の魅力を育む会」を発足しました。

### 1.1.3 活動目的

当会は、次世代を担う子供たちに加えて当該地域を支える大人たちを対象として、関東地域を代表する『利根川』の地域固有の自然環境や、郷土の歴史・文化等の地域資源を活かした体験活動（自然観察会および利根川川下り）を通じて、自然環境保全の必要性理解を深めるとともに、地域の人々の利根川に対する想いや願いを共有し、大人も子供も「地域の一員」としての意識を持った地域に根差した人づくり・地域づくりを目指しています。

### 1.1.4 沿革

当会の沿革は表 1-1 に示すとおりです。

表 1-1 沿革（発足～2021年5月まで）

年月	取組概要	備考
2018.4	利根川の魅力を育む会の発足	会員 2 名
2018.5	利根川の魅力を育むワークショップ開催 ○羽生市市民活動応援補助金への応募（受託）	会員 8 名
2018.6	利根川実践川遊び「水辺安全講座」開催 利根川実践川遊び「利根川川下り」開催	参加者：20 名 参加者：30 名
2018.7	○羽生市立村君小学校総合学習支援	
2018.11	利根川の魅力を育むワークショップ開催 ○河川基金（新設川づくり団体）への応募（受託）	参加者：7 名
2019.2	○平成 30 年度彩の国埼玉環境大賞受賞	羽生市立村君小学校総合学習
2019.5	羽生市村君地区あおぞら市場への参画	参加者：50 名
2019.6	利根川実践川遊び水辺安全講座・川下りイベント開催	参加者：16 名、参加者：24 名
2019.7	○羽生市立村君小学校総合学習支援	小学生：18 名
2019.8	小山市あゆまつりへの参画	来場者：200 名
2019.11	道の駅はにゅう祭り（地元イベントへの参画） 利根川ゴミ拾い※台風 19 号を受けて地元貢献活動へ変更 利根川の魅力を育むワークショップ開催	来場者：100 名 参加者：19 名 参加者：5 名
2020.10	オンラインまちづくりワークショップ ○羽生市立村君小学校総合学習支援 with コロナ：利根川カヤックツアーのプレ開催	参加者：4 名 小学生 12 名、保護者 6 名 一般参加：3 名
2020.11	道の駅はにゅうまつり	本体イベントの中止
2020.12	まちづくりワークショップ	参加者：5 名
2021.3	利根川体験アクティビティ（川下り・自然体験）	参加者：14 名
2021.5	利根川川下りイベント	行田市教育委員会 10 名

表 1-1 沿革 (2021 年 5 月～2025 年 3 月まで)

年月	取組概要	備考
2021. 6	E ボート講習会	当会+建設技研 : 8 名
2021. 7	利根川川下りイベント	流域住民+連携企業 : 12 名
2021. 9	利根川川下りイベント	さいたま水族館他 : 10 名
2021. 10	羽生市立村君小学校支援	小学生 18 名、保護者 9 名
	彩×北 Nature Project (利根川自然講演会)	来場者数 50 名
2021. 10-11	彩×北 Nature Project (ボート撮影会:2 日間)	来場者数 40 組 (約 120 名)
	彩×北 Nature Project (利根川の魅力企画展示)	来場者数 500 名程度
2021. 11	彩×北 Nature Project (彩北環境シンポジウム)	来場者数 100 名程度
	彩×北 Nature Project (川下りイベント)	3 日 16 名, 7 日 17 名
2022. 6	利根川川下りイベント	一般市民 : 6 名
2022. 7	○羽生市立村君小学校総合学習支援 (水辺の安全講座・座学)	村君小 4-5 年 31 名, 教員 3 名
	○羽生市立川俣小学校総合学習支援 (水辺の安全講座)	川俣小 6 年 13 名, 教員 : 2 名
2022. 7-8	川に学ぶ体験活動協議会リーダー研修 (水辺の安全管理講習)	小山市 5 名, 一般 4 名
2022. 8	利根川川下りイベント	埼玉純真大 3 名, 一般 3 名
2022. 9	○羽生市立川俣小学校総合学習支援 (ラフティングツアー)	川俣小 6 年 13 名, 教員 7 名
	利根川観光活用ワークショップ①	一般参加者 30 名 (学生 9 名)
	利根川観光活用ワークショップ②	一般参加者 28 名 (学生 9 名)
2022. 10	利根川川下りイベント	日大 5 名, 一般 3 名
	利根川観光活用ワークショップ③	一般参加者 22 名 (学生 9 名)
	利根川の魅力を育む会 Instagram 開設	フォロワー : 50 名程度
	○羽生市立村君小学校総合学習支援 (ラフティングツアー)	川俣小 6 年 30 名, 教員 5 名
	利根川観光活用ワークショップ④	一般参加者 20 名 (学生 6 名)
2022. 11	利根川観光イベント「Tone River De First Step」の試行	一般参加者 30 名 (WS 参加者)
2022. 12-2023. 3	利根川フォトコンテスト (募集・投票・発表会 : 3. 21)	応募数 55 作品
2023. 5	加須市連携事業 (ジャンボ鯉のぼり川下りツアー)	一般参加者 13 名
2023. 6	○羽生市立川俣小学校総合学習支援 (水辺の安全講座)	川俣小 6 年 15 名, 教員 : 3 名
2023. 7	利根川清掃活動&水辺で乾杯イベント	一般参加者 12 名
	○羽生市立村君小学校総合学習支援 (ラフティングツアー)	村君小 4-5 年 32 名, 教員 2 名
2023. 9	○羽生市立川俣小学校総合学習支援 (ラフティングツアー)	川俣小 6 年 15 名, 教員等 5 名
	テントサウナ体験会	一般参加者 35 名
2023. 4-2024. 3	かわまちづくり協議会設立準備会 (全 4 回)	
2023. 12-2024. 3	利根川フォトコンテスト (募集・投票・発表会 : 3. 24)	応募数 32 作品
2024. 5	加須市連携事業 (ジャンボ鯉のぼり川下りツアー)	一般参加者 14 名
2024. 6	○羽生市立村君小学校総合学習支援 (水辺の安全講座)	児童 37 名, 教員 : 3 名
	○羽生市立川俣小学校総合学習支援 (水辺の安全講座)	児童 14 名, 教員 : 3 名
2024. 7	○羽生市立村君小学校総合学習支援 (ラフティングツアー)	児童 37 名, 教員・PTA 7 名
2024. 9	第 1 回利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会	18 名 (国・日大・民間企業他)
	○羽生市立川俣小学校総合学習支援 (ラフティングツアー)	児童 18 名, 教員・PTA 6 名
2024. 10	利根川フォトコンテスト 2024 募集開始	
	第 2 回利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会	20 名 (国・日大・民間企業他)
	第 3 回利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会	25 名 (国・日大・民間企業他)
2024. 11	利根川観光活用イベントに向けた社会実験	35 名 (国・日大・企業・市民他)
2025. 1	(仮) 羽生・川俣地区かわまちづくり勉強会・現地視察	15 名 (国・日大・民間企業他)
2025. 2	(仮) 羽生・川俣地区かわまちづくり勉強会	14 名 (国・日大・民間企業他)
	利根川フォトコンテスト 2024・審査会	15 名 (国・日大・民間企業他)
2025. 3	利根川フォトコンテスト 2024・表彰式	40 人 (受賞者 12 名)

【凡例】 ■ : コロナ禍, ■ : 本年度の取り組み

## 2. 活動内容

### 2.1 2024 年度活動内容（年間）

本年度は本格始動から6年目であり、川づくり団体部門での助成の2年目となることから、これまでの活動経緯を振り返り、利根川観光活用ワークショップにおいて市民より得られた3つの事業の実現に向けた具体策を検討・実施した。

- ①既設のラフティングツアーを活用した流域連携事業
- ②川の駅・河川敷公園（かわまちづくり）の事業化に向けた取り組み
- ③既存事業である「(仮) 利根アートフェスティバル」の事業化に向けた取り組み

当会では、これまで事業展開してきた「利根川ラフティングツアー」や「河川学習支援」などの取り組みはもちろんのこと、これまで培ってきた「ラフティングツアーの運営技術」や「利根川中流域の地の利」、「産学官民の地域ネットワーク」を活用することで、羽生市以外の地域との連携強化を目指す。これに加え、令和4～6年度に実施した産学官民連携による「利根川観光活用ワークショップ」において市民より得られたアイデアの事業化に向けた取り組みを展開する方針とし、表2-1に示す事業を展開した。

表 2-1 利根川の魅力を育む会の取組概要の一覧（2024 年度）

年月	取組概要	備考
2024. 5. 3	加須市連携事業（ジャンボ鯉のぼり川下りツアー）	一般参加者 14 名
2024. 6. 25	○羽生市立村君小学校総合学習支援（水辺の安全講座）	児童 37 名, 教員 : 3 名
	○羽生市立川俣小学校総合学習支援（水辺の安全講座）	児童 14 名, 教員 : 3 名
2024. 7. 3	○羽生市立村君小学校総合学習支援（ラフティングツアー）	児童 37 名, 教員・PTA 7 名
2024. 9. 10	第 1 回利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会	18 名（国・日大・民間企業他）
2024. 9. 18	○羽生市立川俣小学校総合学習支援（ラフティングツアー）	児童 18 名, 教員・PTA 6 名
2024. 10. 1	利根川フォトコンテスト 2024 募集開始	
2024. 10. 4	第 2 回利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会	20 名（国・日大・民間企業他）
2024. 10. 30	第 3 回利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会	25 名（国・日大・民間企業他）
2024. 11. 10	利根川観光活用イベントに向けた社会実験	35 名（国・日大・企業・市民他）
2025. 1. 20	（仮）羽生・川俣地区かわまちづくり勉強会・現地視察	15 名（国・日大・民間企業他）
2025. 2. 4	（仮）羽生・川俣地区かわまちづくり勉強会	14 名（国・日大・民間企業他）
2025. 2. 28	利根川フォトコンテスト 2024・審査会	15 名（国・日大・民間企業他）
2025. 3. 22	利根川フォトコンテスト 2024・表彰式	41 作品, 40 人（受賞者 12 名）

【注】本紙で整理する活動内容は令和7年3月25日現在のものです。

## 2.2 2024 年度活動内容（詳細）

### 2.2.1 加須市連携ジャンボ鯉のぼり利根川ラフティングツアー

#### (1) 実施概要

- ・実施日：2024（令和6）年5月3日（金祝）
- ・実施場所：利根川：羽生市村君地区（村君小学校）～加須市大越地区（加須未来館）
- ・参加者：14名（R5年度利根川フォトコン受賞者ほか）
- ・活動目的：加須市との利根川流域連携プロジェクトの一環として実施

#### (2) 活動内容

当会の主力イベントである「利根川ラフティングツアー」をベースとして、流域市町村の魅力的なイベントとのコラボ企画として、本年度で2回目の実施を迎えた。このイベントは、当会所有のボート艇数に制限があることから、主として利根川フォトコンテスト 2023 受賞者を招待しての特別企画としている。

このツアーでは、河川体験支援でお世話になっている羽生市立村君小学校に集合の上、普段見るだけの堤防や河川敷を超えて、利根川の水際まで歩いて移動しながら、利根川の自然を体験するとともに、水辺では、入水前の安全講習やボート乗船時の注意事項の開設などを行った。その後、利根川の流れ（はやい場所や穏やかな場所）や、中州への上陸、河川構造物（樋門樋管、水制工など）を見学しながら、ボート体験の楽しさを知ってもらった（写真 2-1～2-4）。加須市大越地区では、中州にて水遊びをしながら、ジャンボ鯉のぼりがのぼるのを待ち望んだが、本年度は、風の関係で川側から望むことができなかった。

当日は、天候もよく、下船後にジャンボ鯉のぼりが風になびく姿も確認できるなど、利根川や地域（羽生・加須）の魅力や安全な河川活動のための工夫点等も知ってもらえたものと認識している（写真 2-5～2-6）。



写真 2-1 出発前の元気な姿



写真 2-2 川下りを満喫する参加者



写真 2-3 中州上陸



写真 2-4 中州で水遊び



写真 2-5 鯉のぼり上がらず



写真 2-6 下船後に鯉がのぼる

## 2.2.2 利根川ラフティングツアー前の水辺安全講座

### (1) 実施概要

- ・実施日：2024（令和6）年6月25日（火）AM 村君小、PM 川俣小
- ・実施場所：羽生市立村君小学校および川俣小学校
- ・参加者：羽生市立村君小学校 児童37名＋教諭3名  
羽生市立川俣小学校 児童14名＋教諭3名
- ・活動目的：利根川河川学習の一環として実施するラフティングツアーの事前安全講座

### (2) 活動内容

今後実施する「利根川ラフティングツアー（村君小7月予定、川俣小9月予定）」を利根川現地で実施する事前の水辺安全講座（座学・実地）を実施した。

講座では、座学として、「自然の川の流れ（瀬淵や反転流など）」や「川に潜在する危険（ケガしやすい場所、危険な植物や動物、虫など）」、「川での安全対策や必要な道具類（ライフジャケットやスローロープなど）」について学んでもらった（写真2-7～2-9）。また、実地体験では、ライフジャケットの正しい着用の仕方に加え、プールでの浮遊体験や救助体験などを通じて、ライフジャケットの必要性や安全性を直に学んでもらった（写真2-10～2-12）。

当日は、自身の考えや講座での説明内容に基づいた、児童ら自身の「利根川の危険箇所」が確立されるとともに、実際のライフジャケットの浮力体験やスイムの仕方、救助体験など、利根川ラフティングツアーに向けた事前準備が整ったものとする。



写真 2-7 川の危険箇所を考える



写真 2-8 川の危険箇所の説明



写真 2-9 川での安全活動に必要な道具



写真 2-10 ライフジャケットの着装



写真 2-11 ライフジャケット浮遊体験



写真 2-12 教員による救助体験

## 2.2.3 羽生市立村君小学校の河川学習支援

### (1) 実施概要

- ・実施日：2024（令和6）年7月3日（水）
- ・実施場所：利根川（利根大堰から東武伊勢崎線高架下）
- ・参加者：羽生市立村君小学校 児童37名、教諭・PTA7名
- ・活動目的：利根川河川学習の一環として実施する利根川ラフティングツアー

### (2) 活動内容

本年度で17年目になる羽生市立村君小学校総合学習～利根川河川学習～の一環としてラフティングボートで利根川を下る「利根川ラフティングツアー」を実施した。

河川学習の一環として、連携した河川管理者や民間企業等のあいさつをはじめ、事前の安全指導やボートの漕ぎ方講習を行うとともに、利根川に広がる雄大な自然環境（ハクレンの遡上やアオサギなど）や、河川構造物（利根大堰や水衝部・テトラポットなど）に関する説明、カヤック体験なども併せて実施した（写真2-13～2-16）。村君小学校は、令和6年度（本年度）で閉校となるため、今年度は3年生以上の児童らが参画しており、初めての乗船する3～4年生に指導する5～6年生も出てくるなど、終始、楽しそうに乗船する児童らを見守ることができた（写真2-18）。

当活動も村君小学校をはじめとして、現在は、川俣小学校や周辺地域のイベントにまで拡大してきていることから、河川管理者や民間企業などの支えをもとに拡大を図っていきたいと考えている。



写真 2-13 ボートの漕ぎ方講習



写真 2-14 ラフティングツアー



写真 2-15 パドルを挙げて！



写真 2-16 川の流れ体験



写真 2-17 カヤック体験



写真 2-18 全体での記念写真

## 2.2.4 利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会（第1回）

### (1) 実施概要

- ・実施日：2024（令和6）年9月10日（火）
- ・実施場所：利根川上流河川事務所 大会議室
- ・参加者：18名（利根川上流河川事務所、日本大学理工学部、民間企業ほか）
- ・活動目的：利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会の実施

### (2) 活動内容

「利根川」の観光活用のアイデアの抽出や、その具体策のひとつとなる河川敷整備（かわまちづくり）に向けた方策について議論するとともに、産学民官が連携して実行可能な「利根川観光イベント（仮称利根アートフェスティバル）」の実現に向けた「地元企業（産）」、「日本大学（学）」、「住民（民）」、「羽生市・利根川上流河川事務所（官）」を対象としたまちづくりワークショップを実施した。

第1回ワークショップでは、会長より当該プロジェクトの開催趣旨の説明（写真 2-19）や、田島助教（日大理工）から年間スケジュール、最終的な目標像に向けた方針を共有するとともに、常松さん（同大大学院生）による「これまでの羽生市利根川観光活用プロジェクトの成果」に関する発表（写真 2-20）をいただき、それらを踏まえて、参加者各位の「利根川や羽生市に対する現状の思い」を抽出するためのワークショップを実施した（写真 2-21）。このワークでは「利根川への思い」として利根川のイメージや利根川でやってみたいこと、造ってもらいたいもの等、さまざまな視点で意見出しを行うとともに、班での意見を模造紙に集約し、2つのグループから発掘された意見の情報共有を図るため、学生らによる発表を行った（写真 2-22～23）。なお、実施内容について別紙「利根川観光活用ワークショップニューズレターNo.1」を参照のこと。



写真 2-19 小宮会長あいさつ



写真 2-20 これまでの取り組み成果



写真 2-21 ワークショップの実施状況



写真 2-22 模造紙とりまとめ



写真 2-23 議論成果の発表(A)



写真 2-24 議論成果の発表(B)

## 2.2.5 羽生市立川俣小学校の河川学習支援

### (1) 実施概要

- ・実施日：2024（令和6）年9月18日（水） ※9月9日（火）水位急上昇で中止
- ・実施場所：利根川（利根大堰から東武伊勢崎線高架下）
- ・参加者：羽生市立川俣小学校 児童18名、教諭・PTA6名
- ・活動目的：利根川河川学習の一環として実施する利根川ラフティングツアー

### (2) 活動内容

本年度で3年目になる羽生市立川俣小学校総合学習（利根川河川学習）の一環として、利根川の水面からの景色や雄大な自然環境を体験する、「利根川ラフティングツアー」を実施した（写真）。当活動では、利根大堰河川敷（行田市）をスタートし、東武伊勢崎線高架下（羽生市）のゴールを目指してラフティングボートで川下りを実施するものであり、利根川の流れの速さや深さ、川に生息する魚や鳥などの見学、河川構造物（利根大堰や水制工、テトラポットなど）の役割を学ぶものである。

当イベントでは、安全指導やボートの漕ぎ方講習（写真2-25）を行うとともに、利根川に広がる雄大な自然環境（ハクレンの遡上やアオサギなど）や、河川構造物（利根大堰や水衝部・テトラポットなど）に関する説明を実施した（写真2-26～27）。これらに加え、本年度は、砂州に立ち寄っての大声大会や希望者による静水域での川流れ体験も併せて実施した（写真2-28～30）。イベント当日は、天候もよく、参加した6年生も、終始、楽しそうに乗船・川流れするなど、利根川を満喫できたものとする。



写真 2-25 ボートの漕ぎ方講習



写真 2-26 利根川の流れを学ぶ



写真 2-27 全体での記念撮影



写真 2-28 砂州での大声大会

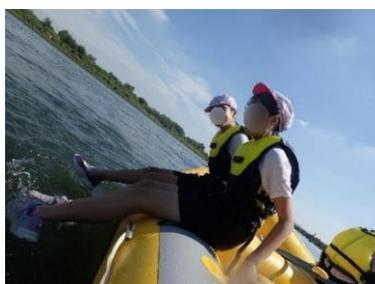


写真 2-29 ボートから足だけ入水



写真 2-30 川流れ体験

## 2.2.6 利根川フォトコンテストポスター制作および募集開始

### (1) 実施概要

- ・実施日：2024（令和6）年10月1日（火）
- ・実施場所：羽生駅および栗橋駅コンコース内、その他、公共施設、民間施設他
- ・参加者：利根川上流河川事務所、日本大学理工学部、民間企業ほか
- ・活動目的：利根川の魅力に関する周辺地域への理解を深めるため

### (2) 活動内容

今年度で3回目となる「利根川フォトコンテスト2024」のポスター制作およびポスター掲示（募集開始）を実施した。本ポスターの制作にあたっては、日本大学理工学部まちづくり工学科（田島助教）の学生サポーターとの連携により実施し、写真2-31に示す大判ポスター（A0サイズ）と、両面刷りチラシ（A4サイズ）を準備した。

さらに、本年度から協催団体として国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所に参画いただき募集枠の拡大を目指して取り組んだ。具体的には、ポスターの掲示に関しては、これまで設置してきた箇所に加えて、利用者が集中すると考えられる「栗橋駅（JR宇都宮線、東武日光線、写真2-32）」および「羽生駅（東武伊勢崎線・写真2-33～2-34）」を追加することで応募者の拡大を目指した。



写真 2-31 学生(日大)制作ポスター(左)、チラシ裏面(右)



写真 2-32 栗橋駅でのポスター掲示



写真 2-33 羽生駅でのポスター掲示



写真 2-34 羽生駅(拡大)

## 2.2.7 利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会（第2回）

### (1) 実施概要

- ・実施日：2024（令和6）年10月4日（金）
- ・実施場所：羽生市役所（羽生市民プラザ）2階205会議室
- ・参加者：20名（利根川上流河川事務所、日本大学理工学部、羽生市、民間企業ほか）
- ・活動目的：利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会の実施

### (2) 活動内容

「利根川」の観光活用のアイデアの抽出や、その具体策のひとつとなる河川敷整備（かわまちづくり）に向けた方策について議論するとともに、産学民官が連携して実行可能な「利根川観光イベント（仮称利根アートフェスティバル）」の実現に向けた「地元企業（産）」、「日本大学（学）」、「住民（民）」、「羽生市・利根川上流河川事務所（官）」を対象としたまちづくりワークショップを実施した（写真2-35～37）。

第2回ワークショップでは、田島助教（日大理工）からの趣旨説明や第1回ワークショップの振り返りに加え、地場ゼネコン（小川工業株式会社）や環境系コンサル（いであ株式会社）に協力いただきながら、利根川イベントの実施内容や、今後のかわまちづくり事業化に向けた具体案の検討を行い、その成果を全体の前で発表した（写真2-38～2-39）。ワークショップ終了後には、羽生市役所より、ワークショップ成果をかわまちづくりに活かすために必要なステップとそれに対する市役所の意気込みについてあいさつがあった（写真2-40）。

なお、実施内容について別紙「利根川観光活用ワークショップニューズレターNo.2」を参照のこと。



写真 2-35 第2回勉強会の準備



写真 2-36 小宮会長のあいさつ



写真 2-37 アイデア出し・まとめ



写真 2-38 検討内容の発表(A)



写真 2-39 検討内容の発表(B)



写真 2-40 締めあいさつ(羽生市)

## 2.2.8 利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会（第3回）

### (1) 実施概要

- ・実施日：2024（令和6）年10月30日（水）
- ・実施場所：羽生市役所（羽生市民プラザ）2階205会議室
- ・参加者：25名（利根川上流河川事務所、日本大学理工学部、羽生市、民間企業ほか）
- ・活動目的：利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会の実施

### (2) 活動内容

「利根川」の観光活用のアイデアの抽出や、その具体策のひとつとなる河川敷整備（かわまちづくり）に向けた方策について議論するとともに、産学民官が連携して実行可能な「利根川観光イベント（仮称利根アートフェスティバル）」の実現に向けた「地元企業（産）」、「日本大学（学）」、「住民（民）」、「羽生市・利根川上流河川事務所（官）」を対象としたまちづくりワークショップを実施した（写真2-41～2-44）。

第3回ワークショップでは、田島助教（日大理工）からの本日の目的・ねらいや第2回ワークショップの振り返りをいただくとともに、「利根川観光活用イベント」の実施内容や、具体的なプログラム（活動内容やスケジュールなど）に関する最終調整を行ったうえで、その成果を全体の前で発表しながら、各班のスケジュール調整を実施した（写真2-45～2-46）。

なお、実施内容について別紙「利根川観光活用ワークショップニューズレターNo.3」を参照のこと。



写真 2-41 第3回勉強会の準備



写真 2-42 小宮会長のあいさつ



写真 2-43 活動内容の議論



写真 2-44 スケジュールの議論



写真 2-45 活動内容と時間の調整(A)



写真 2-46 活動内容と時間の調整(B)

## 2.2.9 利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会（第4回）

### (1) 実施概要

- ・実施日：2024（令和6）年11月10日（日）
- ・実施場所：羽生市役所（羽生市民プラザ）2階 205 会議室
- ・参加者：35名（利根川上流河川事務所、日本大学理工学部、羽生市、市民ほか）
- ・活動目的：利根川観光活用ワークショップの社会実験（プレイベント）の実施

### (2) 活動内容

「利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会」の成果として、実行可能な利根川観光活用プレイベントを実施した（写真 2-47～2-51）。

これまで実施してきた全3回のまちづくりワークショップにおいて検討してきた利根川を活用した各種イベント（ボート競走や大声大会、バーベキュー、石アート体験、テントサウナ体験など）を社会実験として試行的に行った。具体的には、ボート競走では、利根川の魅力を育む会のボート用具やノウハウを、大声大会では環境系コンサル（いであ株式会社）から騒音計やノウハウを、石アート体験やペットボトルランタンづくりでは、日大理工学生らの画具やノウハウを、というように各団体の得意な分野で連携した活動となった。

当日は、比較的、天候もよく、参加者はもちろんのこと、同席したお子さんたちも十二分に楽しんでもらったことに加え、次年度の大規模イベント化に向けた多くの課題も確認することができた（写真 2-52）。



写真 2-47 利根川渡船競走



写真 2-48 石アート体験



写真 2-49 テントサウナ体験



写真 2-50 ペットボトルランタン飾り



写真 2-51 バーベキュー体験



写真 2-52 集合写真

## 2.2.10 (仮) 羽生・川俣地区かわまちづくり勉強会・現地視察（第1回）

### (1) 実施概要

- ・実施日：2025（令和7）年1月20日（日）
- ・実施場所：羽生市役所（羽生市民プラザ）2階205会議室
- ・参加者：15名（利根川上流河川事務所、日本大学理工学部、羽生市、市民ほか）
- ・活動目的：利根川観光活用ワークショップの社会実験（プレイベント）の実施

### (2) 活動内容

当会、羽生市および利根川上流河川事務所で合同開催している「(仮) 羽生・川俣地区かわまちづくり勉強会」の一環として、「わたらせリバープラザ（足利市）」や「松原橋公園（水辺の楽校）」、「せせら（渡良瀬ウォーターパーク）」の現地視察に加えて、かわまちづくり事業を実践した足利市市街地整備課へのヒアリング調査を実施した（写真2-53～2-58）。

「わたらせリバープラザ」では、かわまちづくり制度（都市・地域再生等利用区域）への指定に加え、Park-PFI制度により足利市の公募により選定された民間事業者の施設整備・運営による河川空間のオープン化を実施しており、その空間整備や、それに至った経緯・仕組みについて現地視察および現地ヒアリングを実施した。これに加え、当該検討地域（川俣地区）に類似した環境を有する「松原橋公園（水辺の楽校）」、「せせら（渡良瀬ウォーターパーク）」の現地視察を行うことで、次年度以降の「(仮) 羽生・川俣地区かわまちづくり事業」の実践方法について議論した。



写真 2-53 わたらせリバープラザ視察



写真 2-54 テラスシートの整備状況



写真 2-55 堤防上の水道設備



写真 2-56 足利市へのヒアリング



写真 2-57 せせら現地視察状況



写真 2-58 渡良瀬ウォーターパーク

## 2.2.11 (仮) 羽生・川俣地区かわまちづくり勉強会 (第2回)

### (1) 実施概要

- ・実施日：2025（令和7）年2月4日（日）
- ・実施場所：道の駅はにゅう2階（防災センター）会議室
- ・参加者：14名（利根川上流河川事務所、日本大学理工学部、羽生市）
- ・活動目的：(仮) 羽生・川俣地区かわまちづくりの進め方に係る打合せ

### (2) 活動内容

当会、羽生市および利根川上流河川事務所で合同開催している「(仮) 羽生・川俣地区かわまちづくり勉強会」の一環として、次年度の羽生・川俣地区かわまちづくりの事業化に向けた事前打ち合わせを実施した。

当打合せでは、利根川上流河川事務所より、河川整備基本方針・河川整備計画の改訂状況や、次年度以降に予定される河道掘削の最短スケジュールについて説明を受けた。これに対し、当会および田島助教（日大理工）より、次年度の事業計画（案）として、「羽生・川俣地区かわまちづくり事業の詳細検討(水辺の将来像検討のための全5回のワークショップ)」と、羽生市や市民と連携した「(仮) 利根アートフェス（積極的な河川利用を促す大規模な社会実験とニーズ調査）」を計画している旨の説明を行い、次年度以降の利根川観光活用の具体的方策について議論を行った（写真 2-59）。



写真 2-59 羽生・川俣地区かわまちづくり勉強会

## 2.2.12 利根川フォトコンテスト 2024 の実施

### (1) 実施概要

- ・実施日：一般投票展示 2025（令和7）年2月28日（金）～21日（木）  
審査会 2025（令和7）年2月28日（金）  
表彰式 2025（令和7）年3月22日（土）
- ・実施場所：審査会（羽生市民プラザ）、表彰式（ワークヒルズ羽生）
- ・参加者：利根川フォトコンテスト主催者および参加者（表彰者）
- ・活動目的：流域住民の利根川の魅力を知ってもらう

### (2) 活動内容

当会を中心とした産学民官連携プロジェクトとして「羽生市利根川観光活用プロジェクト」の一環として、2024年10月から「利根川フォトコンテスト2024」の募集を開始した。

フォトコンを開催するにあたり、日本大学理工学部まちづくり工学科の学生らとの連携のもと、利根川上流河川事務所や羽生市観光プロモーション課、民間企業などの後援・協力を受けつつ、ポスター制作から掲示、募集、審査に至る事業を実施した。

応募作品は、全41作品（子ども：20作品、大人：21作品）であり、どれも甲乙つけがたい作品ではあったが、羽生美術連盟を含む審査会（写真2-60）を開催し、グランプリや優秀賞、入選、特別賞などの作品を選出した。これに加え、羽生駅コンコースや羽生市役所（市民プラザ2階）を借用し、展示会および一般投票を実施し、評価された作品をオーディエンス賞として表彰することとした（写真2-61, 2-62）。

また、年度末（3月22日）には、当会の活動報告、優秀作品展示会およびフォトコン表彰式をワークヒルズ羽生にて実施した（写真2-63～2-65）。



写真 2-60 審査会での評価の様子

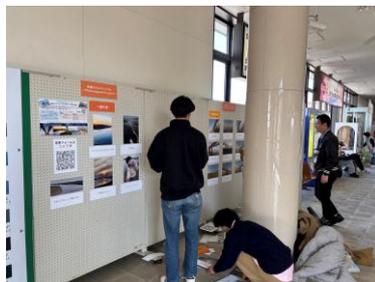


写真 2-61 羽生駅での展示準備



写真 2-62 市役所での展示準備

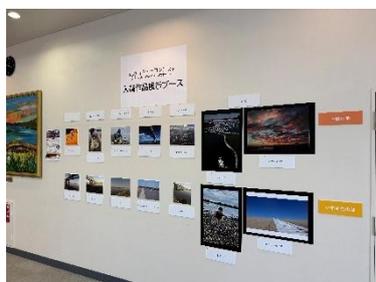


写真 2-63 優秀作品の展示会



写真 2-64 表彰式の様子



写真 2-65 記念撮影の様子

### 3. まとめと今後の展望

2024年度は本格始動からはや6年目であり、かつ、流域川づくり団体助成の2年目であることから、これまでの活動を振り返り、以下の3つの方針を掲げて活動を展開してきました。

- ①既設のラフティングツアーを活用した流域連携事業
- ②川の駅・河川敷公園（かわまちづくり）の事業化に向けた取り組み
- ③既存事業である「(仮)利根アートフェスティバル」の事業化に向けた取り組み

こうした中、既設のラフティングツアーを活用した流域連携事業としては、利根川下流に当たる加須市が実施するジャンボ鯉のぼりを利根川から望む「ジャンボ鯉のぼりラフティングツアー」を実施した。また、川の駅・河川敷公園の事業化に向けた取り組みとしては、国土交通省（利根川上流河川事務所）との合同開催による「利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会」の開催に加えて、国土交通省と羽生市とを巻き込んだ「(仮)羽生・川俣地区かわまちづくり勉強会（現地視察や事前協議）」を開催することができた。さらに、「(仮)利根アートフェスティバル」の事業化に向けた取り組みとしては、「(仮)羽生・川俣地区かわまちづくり勉強会」の中で、積極的な河川利用（水辺フェスティバル）として羽生市民と（一社）羽生観光協会、国土交通省（利根川上流河川事務所）、民間事業者などを巻き込んだ「水辺フェスティバル（9月27日予定）」を計画するまでに至りました。

次年度に当たっては、こうした計画を実現化するために、国土交通省や羽生市役所、民間事業者と連携しながら、継続的な利根川の観光活用事業を一步一步前へ進めていくとともに、さらなる、新たな事業の実現化に向けた取り組みの必要性も垣間見えてくることから、今後もどんどんと発展すべく、利根川を中心とした取り組みを継続実施していく所存です。

末筆ながら、当会の取り組みに関しては、埼玉県が実施する「令和6年度彩の国埼玉環境大賞」の優秀賞を受賞するに至りました（下写真参照）。ここまでの成果が残せたのは、本助成金とご協力、ご後援をいただきましたみなさまのおかげであるとともに、これら取り組みにご賛同いただきました利根川流域の地域住民の皆様のご協力があったのものと認識しております。

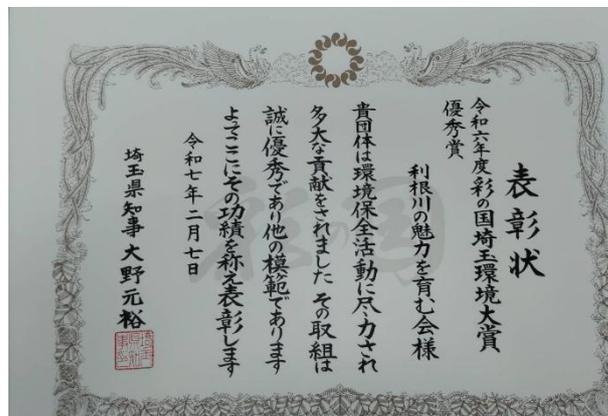


写真 令和6年度彩の国埼玉環境大賞「優秀賞」の受賞式

以上

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2024-6111-015	利根川は地域をつなぐ！	利根川の魅力を育む会・小宮豊隆

**主な実施箇所**

利根川ラフティングツアー；利根大堰から東武伊勢崎線高架下および村君地先から加須市大越地先、利根川フォトコンテスト；イオンモール羽生とワークヒルズ羽生、河川学習支援；羽生市立村君小と川俣小学校

助成事業の主な実施箇所

**河川基金ロゴ等表示状況写真**

遠景・近景

利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会

利根川観光活用ワークショップ・かわまちづくり勉強会

河川学習支援(川俣小学校での水辺安全講座)

河川 公益財団法人河川財団による 河川基金の助成を受けています。

チラシ・ポスター(例)

利根川 2024 フォトコンテスト -Photonegawa Project-

募集期間 2024年10月1日(水)～2025年2月27日(木) 12:00まで

応募資格 プロ・アマチュア問わず誰でも応募可 一般の部(年齢制限なし) / 小学生の部(中学生3年生以下)

応募方法 郵送の場合、ネットの場合(Google forms)

特別賞 各1点 商品券 2,000円

表彰式 2025年3月22日(土) 15時予定